

身延

○中仙渡、八王子筋 東京より東海道官線鐵道に乗らずして甲府に出で登山

するものは此順路によるべし○身延まで四十五里餘なり

△八王子(東京神田三崎町より甲武鐵道の便)四里 小原(一里半)吉野(廿八丁餘)關野(廿四

丁餘)上野原(重宿)下鳥澤(廿八丁)猿橋(一里)大月橋(十八丁)花咲(一里餘)初狩(里十丁)笹子

二里 駒飼(一里)勝沼(廿九丁)栗原(一里廿丁)石和(松岡遺蹟)一里廿二丁 甲府(信立寺)四里 青柳

(昌福)此處より廿五丁横へ一里 鮎澤(甲府より此驛までは馬車あり又早船にて) 寺(昌福)れば小室妙法寺なり

切(石)善妙(十七丁)八日市場(一里餘)下山(上澤寺)一里餘 身延

○信州街道 越後信州よりするものは北越鐵道大屋停車場に下り七里

餘和田(此間六里の時あり)市街繁華なり 諏訪町に出で甲州に入るべし諏

訪町(高國寺)三里 金澤(三里半)萬木(真福寺末寺にて萬冠院)二里半 臺ヶ原(三里)韭崎

四里 小笠原(二里半)青柳(昌福寺以下甲府街道に同ト)

○身延町は總門より二王門に到る間に狐町、下町、中町、上町とす中町の

外れを右に折れて片隈町又東甲府街道へ出づる町を新宿と云ふ以上

戸數大凡三百人口二千と稱す名産は珠數、權胎、湯婆等なり

○本院並支院及び諸堂巡拜の順路等は前に記すが如し

○奥院まで五十丁、七面山まで四里廿六丁いづれも籠あり

○富士川降船 歸路東海道へ出でんとするものは大野又は波木井(共

に總門より廿餘町)より此降船に乗る(雨天の日は出です)を便とす駿

河の岩淵停車場まで十二里僅に五時間弱にして達するを得ん

此船に二種あり途中立寄り乗客を許すを並船とし然らずして一直

線に下るを時間船と云ふ船賃に高下あり但し發船はいづれも午前

中のみ而も時間船は早朝に限るなり

184
59

版權
所有

明治三十二年九月一日印刷
全 年九月四日發行

山梨縣甲斐國南巨摩郡身延村 出版兼編纂 身延山久遠寺

右代表者 清水龍山

印刷者 山本鏡次郎
東京市京橋區西紺屋町二十六七番地

印刷所 株式會社秀英舍
東京市京橋區西紺屋町二十六七番地



